

電動車椅子処方上の構造説明及び対象者の目安

電動車椅子を処方する際、障がい状況等に応じた電動車椅子の名称やその部品等を追加する場合の対象者例及び構造の一部を掲げましたので参考にしてください。

電動車椅子の名称	リクライニング式	頸髄損傷者で低血圧性発作を起こしやすいため、随時に仰臥位姿勢を取る必要がある者。 リウマチ性の障がい等により四肢や体幹に著しい運動制限があつて座位を長時間保持できないもの。	
	電動リフト式	手動リフト式普通型車椅子の使用が困難な者で、当該車椅子を使用することにより自力乗降が可能となる者等、日常生活又は社会生活において真に必要な者。	
	ティルト式	脳性麻痺、頸髄損傷、進行性疾患等による四肢麻痺や関節拘縮等により座位保持が困難な者であつて、自立姿勢変換が困難な者。	
付	1台又は1個の別		
	バックサポート	延長	台 体幹の筋力低下により、背当ての延長が必要な者。
		背張り調整式	台 体幹の筋力低下や脊柱変形等により、一枚ものの背当てシートでは座位の安定性確保が困難な者。クッション入りカバーで覆う構造。背クッションの同時加算は不可。
		背折れ機構	台 背当てが高く、自動車のトラック等への収納が頻回にある場合等。
	アームサポート	高さ角度調整式	個 成長期の児童等でアームポートの高さ変更の必要がある者。上肢筋力低下、可動域制限等によりアームポートの高さ調整を要し、かつ、ティルト時に肘が落ちる場合。肘部が上下に可動(複数の穴にネジ等で固定)し、かつ、角度も可変すること。
		高さ調整式	個 成長期の児童等でアームポートの高さ変更の必要がある者。上肢筋力低下、可動域制限等によりアームポートの高さ調整が必要な者。肘部が上下に可動(複数の穴にネジ等で固定)すること。
		角度調整式	個 上肢筋力低下により、ティルト時に肘が落ちる場合。肘部の角度が可変すること。
		跳ね上げ式・脱着式	個 移乗動作時に必要な者。
		拡張	個 上肢筋力低下等のため肘が落ちやすい者。肘当ての幅が6cm以上。
		延長	個 リクライニング時に肘が落ちるため、長さを後方に延長する必要がある者。
	サレット	脱着式	個 主に足こぎをする者。移乗動作時に必要な者。
		挙上式(パッド形状)	個 膝関節の屈曲制限がある者。歯形の形状又はカナルロックで挙上する構造。
		開閉挙上式	個 膝関節の屈曲制限がある者。歯形の形状又はカナルロックで挙上する構造、かつ、フレームパイプにレッグサポートを差し込める構造。脱着機能を含む。
	属	フットサポート 前後・角度・左右調整	個 成長期の児童。足関節の可動域制限がある者。下肢装具を付けたまま車椅子に乗車する者等。複数のフットサポートをクランプで挟む構造。
		その他	ヘッドサポートベース (マルチタイプ)
座板			台 スリング式のシートでは座位保持が困難な者。木材又は樹脂。
幅止め			個 体重が重い等のため、バックサポートパイプ等がたわむ者。バックサポートパイプ間又はベースパイプ間の芯張りをいう。
手動スイング チンコントロール式			個 上肢筋力低下により、上肢での操作が不可能な者。スイングアームの位置調整は介助者が行う。あごで電動車椅子を操作するためのパーツで構成されたもの。
簡易型電動装置 ACサーボモーター式		台 一回充電の航続距離を長く必要とする者。メンテナンスフリーを希望する者。	
品		背クッション (主材料はウレタン)	個 背部に褥瘡の危険性がある者。軽度の座位困難のため座位保持用に必要な場合。
		ゲルとウレタンフォームの 組合せクッション	個 知覚脱失の者。自力で除圧できない者。骨の突起等で発赤ができる者。
		フローテーションパッド	個 ゲル状の素材でできたクッション。褥瘡ができていたり、既往のある者。
		特殊形状クッション (骨盤・体幹部サポート) (主材料はウレタン)	個 座位保持が困難で臀部・大腿形状に沿った形状のクッションが必要な者。(座位保持装置のモールド型までは必要ない者。)
		特殊な空気室構造のクッション	個 空気室の袋が連なっているクッション。フローテーションパッドよりさらに除圧効果が高い。
		クッションカバー (防水加工)	個 失禁が頻回等の理由から防水用クッションカバーを必要とする者。
		枕(オーダーメイド)	台 体幹筋、頭部筋の麻痺等により頭部の位置を微調整する必要がある者。
		スポークカバー	個 手がスポークに挟まれる危険がある場合に使用。
		滑り止めハンドリム	個 握力や筋力低下等上肢に障がいがあるため、ハンドリムが把持しづらい場合。
	延長用ブレーキアーム	個 片麻痺者の麻痺側等に必要。	
	フットブレーキ(介助者用)	個 車椅子の後方に付ける足踏みブレーキ。介護者が使用する。	
屋外用キャスター (エア式等)	個 日常移動する道路等(私有地は含まない)に段差や凸凹が多く、移動の際ショックを和らげる必要のある場合。		